

# モデルコース①「噴火と遥拝」 自然と富士山の偉大なる力を体感コース 1/2



山宮浅間神社(鉾立石)



白糸の滝



富士山本宮浅間大社(鉾立石)



静岡県富士山世界遺産センター

<p>コース特徴</p>	<p>世界文化遺産「富士山」の構成資産を巡るとともに、自然・水・参拝・ニュースポット(静岡県富士山世界遺産センター(平成29年12月23日開館))等の要素で構成されたコース</p>
<p>日帰りコース 日程</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>行程表の表示</p> <p>..... 主に徒歩による移動を想定</p> <p>==== 車等による移動を想定</p> </div>	<p><b>各地=====山宮浅間神社(社殿を持たない神社・遥拝所・鉾立石)=====</b>          ※富士山を直接遥拝する遥拝所がある神社</p> <p><b>=====白糸の滝(名水百選・富士講の祖:長谷川角行修行の地)=====</b>          ※雄大な富士山の雪解け水が流れ落ちる、いにしへの修験者の修行の地</p> <p><b>=富士山本宮浅間大社(全国1300余りの浅間神社の総本山・湧玉池・鉾立石)...</b>          ※古代の噴火を鎮めたとされる神社と、その溶岩の間から湧く、美しい湧き水の池</p> <p><b>.....静岡県富士山世界遺産センター.....お宮横丁</b>          ※1階から5階を繋ぐ螺旋スロープの壁面には、富士登山をイメージできるような映像を見ながら、疑似登山体験が可能</p>
<p>キーワード「噴火と遥拝」</p>	<p>古来、富士山麓では、富士山に対する展望を意識して集落や祭祀の場が形成されていました。8世紀から9世紀頃、人々は度重なる噴火を、火の神「浅間大神」の怒りと考えました。それを鎮めるために山麓から山頂を仰ぎ見て崇拝する「遥拝」の習慣が生まれ、各地に遥拝所(このコースでは、山宮浅間神社)が設けられました。</p>
<p>移動手段例</p>	<p>マイカー／周遊バス</p>

関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
山宮浅間神社	静岡県富士宮市山宮740	新東名高速道路・新富士ICから約25分 ※山宮浅間神社案内所開館は、土日祝日の10時～15時 (年未年始、休館)
白糸の滝	静岡県富士市上井出273-1	JR富士宮駅から車で約20分、バスで約30分(白糸の滝観光案内所前バス停下車徒歩約10分)
富士山本宮浅間神社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
静岡県富士山世界遺産センター ※平成29年12月23日開館	静岡県富士宮市せせらぎ 広場及び周辺地	外部リンク 静岡県ホームページ <a href="http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html">http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html</a>
お宮横丁	静岡県富士宮市宮町4-23	※駐車場なし(富士山本宮浅間大社の駐車場、富士宮市宮神田川観光駐車場等をご利用ください。)

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



山宮浅間神社  
遥拝所から拝む富士山

本コースにおける世界遺産構成資産

・山宮浅間神社(構成資産3) 富士山本宮浅間大社の前身で、社殿の代わりに遥拝所が設けられ、富士山に鎮火の祈りを捧げたといわれています。

・白糸の滝(構成資産24) 富士山の火山層からの湧き水が流れ出る名瀑。長谷川角行(富士山信仰「富士講」の祖)が人穴に入る前に身を清めた地とされ、富士講信者の巡礼の場ともなりました。

・富士山本宮浅間大社(構成資産2) 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると)806年に現在の地に社殿を移しました。



富士浅間神社(須走口)




須山浅間神社(御殿場口)



富士山本宮浅間大社(銚立石)



静岡県富士山世界遺産センター

<p>コース特徴</p>	<p>世界文化遺産「富士山」構成資産について新たな魅力を見出し、新たな発見があるコース。芸術の源泉と文化の信仰としての富士山について触れられるコース。</p>
 <p>行程表の表示          ..... 主に徒歩による移動を想定          ===== 車等による移動を想定</p>	<p><b>各地 = 富士浅間神社（須走口）（見ざる言わざる聞かざる、三戒の浅間神社） =</b>  <b>= 須山浅間神社（ハートの灯籠のある、室町時代頃からの浅間神社） = = = = =</b>          ※可愛らしくも日本古来からの伝統が垣間みられる場所のひとつ</p> <p><b>= 富士山かぐや姫ミュージアム（富士山頂に帰って女神となるかぐや姫伝説の由来） = =</b>          ※2016年4月リニューアル、富士山の御祭神でもあったかぐや姫の由来を見られる</p> <p><b>= 富士山本宮浅間大社……静岡県富士山世界遺産センター = 各地</b>          ※ご神木は境内の桜樹たち、桜の開花は、御祭神コノハナサクヤヒメの御神徳によるものとされている。</p>
<p>キーワード「修験者と登拝」</p>	<p>12世紀頃になり富士山の噴火活動が鎮まったことから、修験者と呼ばれる宗教者たちは、富士山を山岳修行の地として、富士山の神仏から霊力を得るために山頂を目指す「登拝」を志すようになっていきました。14世紀以降になると登拝の文化が広がり、道者と呼ばれた庶民の信者も、修験者に導かれて登拝を果たすようになりました。須山浅間神社、富士浅間神社など登山口の浅間神社を拠点とする各登山道の整備が進みました。</p>
<p>移動手段</p>	<p>マイカー／タクシー</p>



関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
富士浅間神社(須走口)	静岡県駿東郡小山町須走126	東名高速道路・御殿場ICから約15分
須山浅間神社	静岡県裾野市須山722	東名高速道路・裾野市ICから約15分
富士山かくや姫ミュージアム	静岡県富士市伝法66番地の2	西富士道路 大淵・広美ICから約3分 JR富士駅・吉原駅・新富士駅から約20分 ※休業日 月曜（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
静岡県富士山世界遺産センター	静岡県富士宮市せせらぎ広場及び周辺地	(外部リンク 静岡県ホームページ <a href="http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html">http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html</a> )

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



須山浅間神社  
猪目(ハート)の灯籠から覗いた本殿

本コースにおける世界遺産構成資産

- ・富士浅間神社(構成資産6) 延暦大噴火を受けて807年に造営されたと伝えられる浅間神社。須走口登山道は富士講信者の巡拝に利用されました。
- ・須山浅間神社(構成資産5) 須山口登山道の起点とされた浅間神社。この道は宝永大噴火で大きな被害を受けました。
- ・富士山本宮浅間大社(構成資産2) 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると) 806年に現在の地に社殿を移しました。

モデルコース③「富士講と巡拝」 富士講のいま御師の足跡を訪ねる旅 1/2




御師旧外川家住宅



北口本宮富士浅間神社



ふじさんミュージアム(館内 大型立体模型)

<p>特 徴</p>	<p>「富士講」を知るためのコース。 多様な富士山構成資産の楽しみ方・観光の1つとして芸術の源泉・文化の信仰を見聞きできるコース</p>
 <p>日帰りコース 行程</p> <p>行程表の表示          ..... 主に徒歩による移動を想定          ===== 車等による移動を想定</p>	<p>各地…御師旧外川家住宅（江戸時代そのままの御師住宅）…御師まち散策……………          ……………小さな発見が沢山！案内人と一緒に御師まち散策……………          ……御師の宿筒屋（素朴を味わう、御師料理の昼食）※オプションとして有無選択……………          ……北口本宮富士浅間神社（古くより吉田口登拝の起点とされた浅間神社）=====          =====ふじさんミュージアム（富士山信仰の展示見学）……………各地</p>
<p>キーワード「富士講と巡拝」</p>	<p>17世紀、富士山で修行した長谷川角行を祖とする富士山信仰「富士講」が誕生します。18世紀、長谷川角行ゆかりの地を巡拝する富士講が、庶民に人気を博します。それぞれの聖地を巡る巡礼路は、富士山の構成資産となった山麓の浅間神社や名所・旧跡をつなぐ道として多くの道者が行き交いました。また、登山口では道者の案内や世話を務めた御師の居住する御師住宅が発達しました。</p>
<p>移動手段</p>	<p>徒歩/マイカー/公共交通機関</p>

関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
御師旧外川家住宅	山梨県富士吉田市上吉田 3-14-8	中央自動車道・河口湖ICから車で約5分 富士急行・富士山駅から徒歩で約5分 定休日 火曜日（祝日を除く）年末年始 ※GW、7、8月は無休
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市上吉田 5558	中央自動車道・河口湖ICから車で約5分 富士急行・富士山駅から車で約3分、バスで約5分(浅間神社前バス 停下車徒歩0分)
ふじさんミュージアム	山梨県富士吉田市上吉田 2288-1	中央自動車道・河口湖ICから約15分、東富士五湖道路・山中湖 ICから約10分 富士急行富士山駅から車で約10分、バスで約15分(サンパークふじ バス停下車1分) 定休日 火曜日(祝日を除く) 年末年始 ※GW、7、8月は無休

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。  
 ※移動方法は例示となります。また、移動時間も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



北口本宮富士浅間神社(大鳥居)

本コースにおける世界遺産構成資産

- ・御師旧外川家住宅(構成資産9) 道者や富士講信者が登拝する際、寝食の提供を行った施設。
- ・北口本宮富士浅間神社(構成資産1-6) 浅間大神が祀られていた遥拝所を起源として建立されたと伝えられる浅間神社。後に、吉田口登山道の起点として富士講とともに発展した神社です。

# モデルコース④「富士登山の多様化」

## ご利益登山いにしへの修験道登山(大宮・村山口コース) 1/2



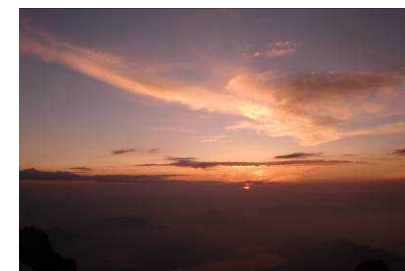
富士山本宮浅間大社  
楼門・鉾立石



富士山本宮浅間大社



村山浅間神社



富士山より 朝焼け

<p>コース特徴</p>	<p>富士登山の際、富士山本宮浅間大社等の神社を参拝せずに、五合目から頂上を目指す方も多いですが、あらためて古来より伝わる登拝になぞらえ、五合目からの登山前に、富士山本宮浅間大社及び村山浅間神社を参拝する(※)ことで、富士山の「神聖さ」を「信仰の対象」の形として経験するコース。</p> <p>※村山浅間神社から旧登山道(未特定)は歩いて登ることはできませんので御注意ください。古来になぞらえ村山浅間神社を参拝後は、車等により一般道を利用した移動が想定されます。</p>
<p>宿泊コース 行程例</p> <p>行程表の表示          ..... 主に徒歩による移動を想定          === 車等による移動を想定</p>	<p><b>【1日目】</b>  <b>各地 == 富士山本宮浅間大社(参拝・御祈祷) == 村山浅間神社(大日堂参拝) ==</b>          (※開館日に注意)  <b>=== 富士宮口五合目(大宮・村山口登山道) ..... 山小屋(泊)</b></p> <hr/> <p><b>【2日目】</b>  <b>山小屋(早朝) ..... 富士山頂(ご来光) ..... 浅間大社奥宮.....</b>  <b>..... お鉢めぐり(剣ヶ峰・久須志神社等「八葉九尊」のご利益めぐり) .....</b>  <b>..... 富士宮口五合目 ===== 各地</b></p>
<p>ポイントワード「富士登山の多様化」</p>	<p>近代化によって、富士山周辺地域では鉄道網や自動車道が整備され、五合目から登山する方法が進んだことで、観光など富士登山に対する動機が多様化しました。しかし、現在も多くの登山者が山頂などで「御来光」を拝み、「お鉢めぐり」を行うなど、富士山への信仰心は今に受け継がれています。</p>



移動手段	マイカー／公共交通機関 ※登山については、マイカー規制があることに注意してください。富士宮口は、平成29年7月10日(月)9:00～9月10日(日)18:00(マイカー規制対象車は、「水ヶ塚駐車場」に駐車しバスにて移動)
------	---

### 関連施設所在地

施設名	所在地	アクセス等
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で約10分
村山浅間神社	静岡県富士宮市村山1151	新東名高速道路・新富士ICから約20分 JR富士宮駅から車で約20分 [神社案内所開設日] 土日祝日 10:00～15:00
水ヶ塚駐車場	静岡県裾野市須山字浅木塚	<b>マイカー規制期間中</b> 規制対象車は、水ヶ塚駐車場へ駐車後(1台1,000円)、シャトルバス(駐車場代とは別途有料)・シャトルタクシー(駐車場代とは別途有料)にて富士宮口5合目まで移動

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間等も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。



富士山本宮浅間大社  
湧玉池

### 本コースにおける世界遺産構成資産

- ・**富士山本宮浅間大社(構成資産2)** 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、(社伝によると)806年に現在の地に社殿を移しました。
- ・**大宮・村山口登山道(現在の富士宮口登山道、構成資産1-2)**、**村山浅間神社(構成資産4)** 末代上人が修験道の拠点とした浅間神社。富士山本宮浅間大社を起点とし、村山浅間神社を経て山頂に向かう登山道は、多くの修験者に利用されました。





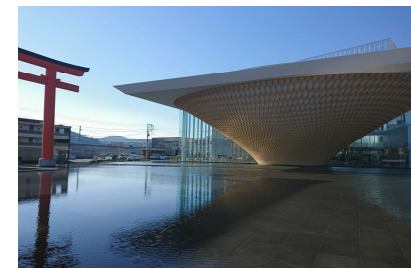
三保松原より望む富士山



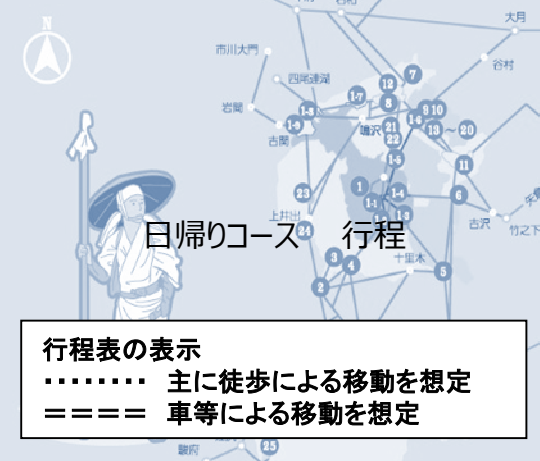
富士山本宮浅間大社



富士山本宮浅間大社  
本殿側面（浅間造）



静岡県富士山世界遺産センター

<p>コース特徴</p>	<p>「芸術」としての富士山にスポットを当てたコース。 芸術を通じ、古来より伝わる富士山の芸術の源泉、信仰の対象としての変遷を知るコース。</p>
 <p>行程表の表示          ..... 主に徒歩による移動を想定          ===== 車等による移動を想定</p>	<p><b>各地 = = = = 静岡県立美術館（富岳群青・駿州薩陀山富士遠望図） = = = =</b>  <b>= = = = 三保松原（最遠の世界文化遺産構成資産・海越えの富士山を眺望） = =</b>  <b>= = = 東海道広重美術館（富士山が描かれる、浮世絵芸術を多数展示・収蔵） = =</b>  <b>= 富士山本宮浅間大社（参拝・御祈祷） ……静岡県富士山世界遺産センター（富士山に関連した美術作品のデジタル画像が150点以上観覧可能） = 各地</b>          ※平成29年12月23日開館</p>
<p>キーワード「富士山と芸術」</p>	<p>雄大さと美しさを兼ね備える富士山は、「芸術の源泉」として、日本人のみならず海外の芸術家にもインスピレーションを与えてきました。絵画、文学、詞歌、演劇の題材となり、数多くの芸術作品を生み出してきました。</p>
<p>移動手段</p>	<p>マイカー／公共交通機関</p>

関連施設所在地

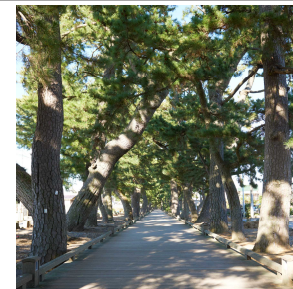
施設名	所在地	アクセス等
静岡県立美術館	静岡県静岡市駿河区谷田53-2	東名高速道路静岡IC・清水IC、新東名高速道路新静岡ICより約20分 JR草薙駅からバスで約6分（県立美術館バス停車）
三保松原	静岡県静岡市清水区三保	東名高速道路清水ICから約30分 JR清水駅からバスで約25分（三保松原入口下車徒歩約20分）
東海道広重美術館	静岡県清水区由比297-1	東名高速道路富士ICから約25分（又は清水IC） JR由比駅から徒歩で約25分、タクシーで約5分
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市宮町1-1	新東名高速道路・新富士ICから約15分、JR富士宮駅から車で約3分または、駅から徒歩で10分
静岡県富士山世界遺産センター	静岡県富士宮市せせらぎ広場及び周辺地	(外部リンク 静岡県ホームページ <a href="http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html">http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html</a> )

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間等も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。

本コースにおける世界遺産構成資産

- ・三保の松原（構成資産25） この地から望む美しい富士山の姿は、多くの芸術家に影響を与えてきました。「万葉集」以降の多くの和歌集に登場し、謡曲「羽衣」の舞台や浮世絵の題材として取り上げられています。
- ・富士山本宮浅間大社(構成資産2) 全国の浅間神社の総本社。噴火を鎮めるために浅間大神を祀ったことを起源とし、（社伝によると）806年に現在の地に社殿を移しました。



三保松原 神の道

モデルコース⑥「修験者と登拝」  
 ご利益登山「一合目から富士講登山」(吉田口コース)1/2



北口本宮富士浅間神社(大鳥居)



中ノ茶屋(石碑)



馬返

<p>コース特徴</p>	<p>現在も往時の登拝ルートが残る吉田口を巡るコース。                  コース行程が長いので、複数回に分けて十分に安全に配慮したうえで行かれることをお奨めします。</p>
<p>行程表の表示                  ..... 主に徒歩による移動を想定                  ===== 車等による移動を想定</p>	<p><b>北口本宮富士浅間神社(参拝・御祈祷) … 吉田口遊歩道 … 泉瑞(修験者の水垢り場) …</b>  <b>… 中ノ茶屋 …… 馬返(一合目) … 富士御室浅間神社(本宮)(二合目) …… 御釜 ……</b>  <b>… 中食堂(三合目) …… 御座石浅間神社(四合五勺) …… 佐藤小屋(五合目) …</b>  <b>富士スバルライン五合目 …… 六合目 …… 七合目 …… 元祖室(八合目) … 迎久須志神社(</b>  <b>九合目) …… 久須志神社(富士山頂)</b></p> <p>※上記コースを、区間ごと3～4回に分けて登拝、5合目以上は山小屋宿泊のうえ1泊2日を推奨</p>
<p>キーワード「修験者と登拝」</p>	<p>12世紀頃になり富士山の噴火活動が鎮まったことから、修験者と呼ばれる宗教者たちは、富士山を山岳修行の地として、富士山の神仏から霊力を得るために山頂を目指す「登拝」を志すようになっていきました。14世紀以降になると登拝の文化が広がり、道者と呼ばれた庶民の信者も、修験者に導かれて登拝を果たすようになりました。須山浅間神社、富士浅間神社など登山口の浅間神社を拠点とする各登山道(このコースでは、吉田口登山道)の整備が進みました。</p>
<p>移動手段</p>	<p>北口本宮富士浅間神社より徒歩</p>





### 関連施設所在地

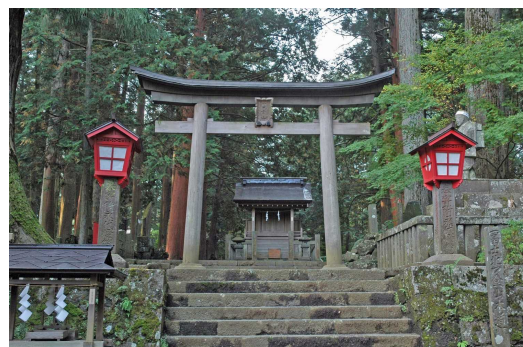
施設名	所在地	アクセス等
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市上吉田5558	中央自動車道・河口湖ICから車で約5分 富士急行・富士山駅から車で約3分、バスで約5分(浅間神社前バス停下車徒歩0分)

※最新の施設情報・費用等、事前に十分確認いただいたうえ、御自身の責任で訪問されるようお願いいたします。

※移動方法は例示となります。また、移動時間等も実際の交通状況等により変動しますので御注意ください。

※開山期間中、富士スバルライン(吉田口)は、マイカー規制があり、マイカーで移動される場合は吉田口臨時駐車場(山梨県立富士北麓駐車場)にて駐車後、シャトルバス・タクシーに乗り換えとなります(有料)。事前に詳細を御確認ください。

### 本コースにおける世界遺産構成資産



北口本宮富士浅間神社 登山門

#### ・山頂の信仰遺跡群(構成資産1-1)

修験者の登拝が始まると、山頂の火口壁に沿って信仰の拠点が建てられました。火口の周囲にある8つの峰を、極楽浄土を表す八葉蓮華(はちようれんげ)に見立てて巡る「お鉢巡り」も行われました。

#### ・北口本宮富士浅間神社(構成資産1-6)

浅間大神が祀られていた遥拝所を起源として建立されたと伝えられる浅間神社。後に、吉田口登山道の起点として富士講とともに発展した神社です。

#### ・富士御室浅間神社(構成資産8)

富士山中に最も早く祀られたともいわれる浅間神社。吉田口登山道の二合目に修験や富士講の拠点である本宮が、川口湖畔に移築後の社殿が現存する里宮が置かれています。